

葉山 上山口

散策ガイド

葉山は、上山口を含む6ヶ村が合併し明治22年に村となって以来三浦郡に属し、その後大正14年町制に移行するも、今でも一郡一町です。

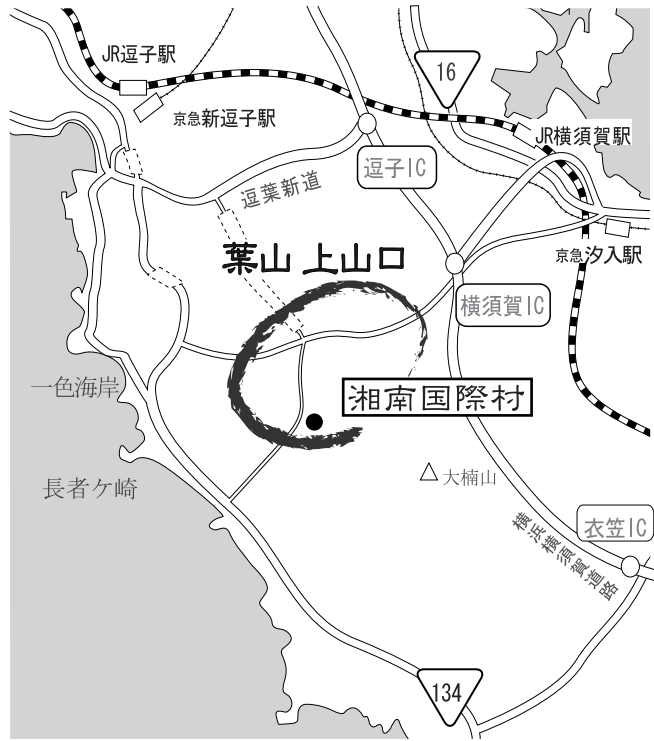
明治27年には御用邸が造営され、その後皇族や政財界人の別荘地として栄えてきました。海側の別荘地がマンション等に変貌をとげる中、昔ながらの棚田や史跡を残す上山口・旧浦賀道沿いの散策は、人も自然も豊かで、ゆったりした気分になれることと思います。



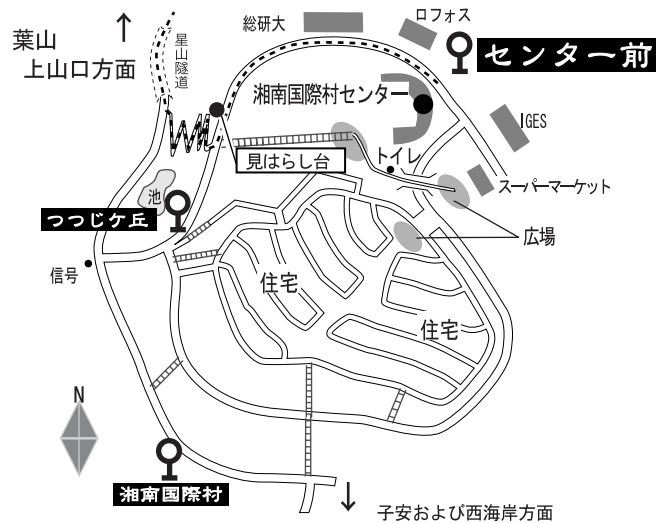
湘南国際村10周年事業実行委員会
NPO法人葉山まちづくり協会
(財)かながわ学術研究交流財団

2005年3月

湘南国際村周辺地図

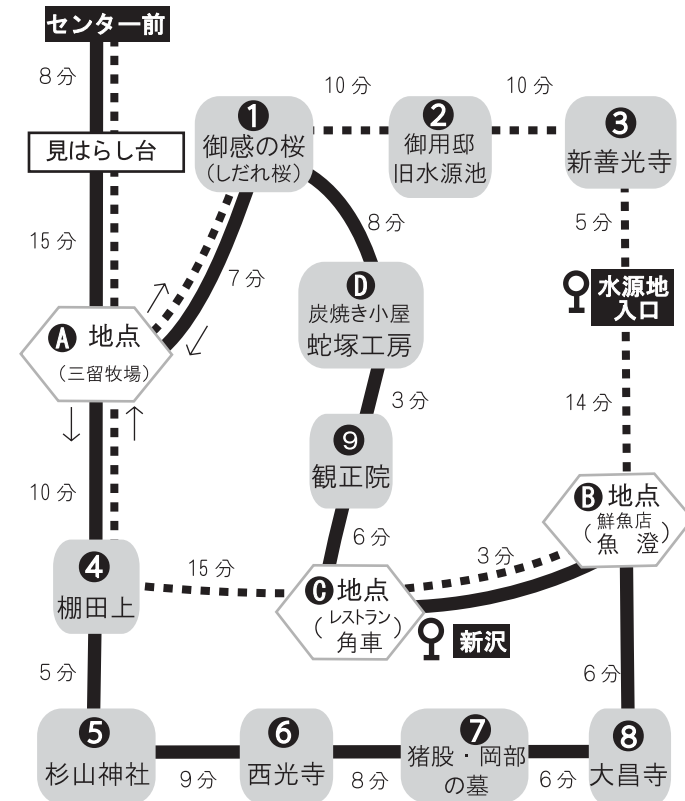


湘南国際村地図



上山口の散策コース

- 西(水源池~新善光寺)コース(約2時間)
- 東(棚田~大昌寺)コース(約2時間)



バス停案内

- 上山口小学校** 湘南国際村行 逗子行 衣笠行 汐入行
- 新沢** 湘南国際村行 逗子行 汐入行
- 黄金坂橋** 湘南国際村行 逗子行 汐入行
- 水源池入口 滝の坂** 湘南国際村行 逗子行 衣笠行

..... センター前から葉山 上山口方面への近道

上山口散策コース見どころ解説

① ぎよかん 御感の桜 (しだれ桜)

明治末、大正天皇が皇太子のころ拝観されたのでこの名がつく。

原木は大正6年の台風で倒れたが、見事に再生。高さ枝振りとも10m四方に広がっている。



② 御用邸旧水源地

大正2年(1913)、良質で水量豊富だった池田小太郎家の井戸を裏山ごと買上げ、御用邸水源地とした。取水槽は当時のコンクリート構造物として貴重。

全長2910m、落差21mを鉄管で運び、昭和49年(1974)まで使用された。



③ 新善光寺

浄土宗寺院で、本堂内陣は室町期の禅宗様式と伝えられ、貴重な建物。外陣、脇陣は江戸時代に改修。唐様の四脚門とともに、本堂、厨子(寛政9・1797建立)は葉山では数少ない県指定重要文化財。

本堂はかながわの建物100選の一つ。



④ 棚田

今では三浦半島でも珍しい棚田が美しい曲線を描いている。

2000年には皇室の献上米にも選ばれた。農家とともに、ボランティアグループが田植えから収穫までの作業に汗を流している。



⑤ 杉山神社

上山口地区の鎮守の社。

その昔、海で神像を拾ったが、年末で多忙だったため杉葉を集めた仮の社に安置したので、この神号になったとされる。本殿のしめ縄は氏子が編んだもの。



⑥ 西光寺

17世紀初頭の創建の浄土宗の寺。本尊の阿弥陀如来三尊立像は室町末期の作、地藏菩薩立像と共に町の指定重要文化財。

銀杏の大木と百日紅さるすべりが見事。地名の寺前は西光寺にちなんでいる。



⑦ 猪股小平六・岡部六弥太の墓

五輪塔二基は、鎌倉時代初期のものとしては規模が大きい。ともに源頼朝に武勲一の筆に加えられた武将の墓である。

町の指定重要文化財。江戸時代にこの地に移されたという。



⑧ 大昌寺

暦応年間(1338~41)戸塚八郎右衛門宗達が遁世の身となり、庵室を構えたのが始まり。

境内のもみじの巨木は、町の天然記念物で、秋の紅葉は旧浦賀道を彩る景物である。



⑨ かんしょういん 観正院

創建は17世紀。本尊は十一面観音菩薩像で運慶の作と言われている。三浦三十三所巡礼札所の第26番札所。

現在の堂宇は昭和11年に改築されたもので、庫裡はなく無住となっている。

